

主要施策名：(4)文化・芸術の振興

事務事業本数：11

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(4)文化・芸術の振興	(1)文化交流活動の推進	241-1	博物館事業	文化課
			241-2	博物館施設管理・運營業務	文化課
			241-3	収蔵品等管理業務	文化課
			241-4	文化振興事業	文化課
			241-5	市民会館管理事業	文化課
		(2)文化財の保護と活用	242-1	旧庁舎跡地周辺文化財発掘調査事業	文化課
			242-2	文化財保護事業	文化課
			242-3	市内遺跡試掘確認調査事業	文化課
			242-4	市内遺跡発掘調査事業	文化課
			242-5	文化財保護活用拠点施設(仮称:玉名市文化財管理センター)整備事業	文化課
		(4)「音楽の都 玉名」づくりの推進	244-1	音楽の都づくり事業	文化課

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館事業		所管課 【2】	文化課			
			作成者(担当者)	田熊秀幸			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興					
	施策区分	(1)文化交流活動の推進					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 博物館法、玉名市博物館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし						
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的業務 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10	項 5	目 6	細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館は、平成6年5月22日に開館し令和4年度で28年目となる。これまで来館経験のある方に再度来ていただくためには、企画展内容の充実と催し物や体験学習等における新たな魅力ある事業の取組が必要である。事業に係る調査や資料収集、展示或いは外部者からの学術的・専門的な問い合わせ等に対応できる学芸員の育成を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市内外からの入館者、市民(※究極的对象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名の歴史・文化の紹介を通して、市民の郷土愛を育み、各地に残る歴史的文化的遺産の継承にも繋げて行く。また、フェイスブックやホームページ等で市外の方にも玉名の様々な魅力を知ってもらい、来館者の増加と利用者の拡大を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵品等資料を展示した企画展を開催する。</li> <li>・無料スペースによる展示及びコンサート等を開催する。</li> <li>・講座、史跡探訪、天体観測等体験型学習会を開催する。</li> <li>・市広報紙等による博物館行事の情報発信を行う。</li> <li>・外部団体からの依頼に応じて出前講座を開講する。</li> </ul> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center; font-size: 2em; margin: 0 10px;">⇒</div> <div style="flex: 1;"> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(6)本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 企画展事業</li> <li>② 特集展示</li> <li>③ 催物事業</li> </ul> </div> </div>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	330
		一般財源	3,042	3,389	2,525	1,248
		【16】 小計	3,042	3,389	2,525	1,578
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	8,042				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.55	0.30	0.33	0.33
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			3.31	3.31	2.70	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	3,012	8,098	7,126	6,610		
合計	6,054	11,487	9,651	8,188		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 企画展事業	収蔵品や収集又は借用した資料等の展示会を開催する。	展示会開催回数	回	3	4	2	2
② 特集展示	収蔵品などの資料を利用した展示を行う(企画展よりは小規模)	特集展示開催回数	回	-	-	4	3
③ 催物事業	収集及び作品募集した資料等の展示、コンサート等を開催する。	催物開催回数	回	3	6	6	7

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(来館者数)	14517	4907	5464	6000
投入コスト合計(千円)	6,054	11,487	9,651	8,188
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	2	2	1
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (-)	100.00% (-)	200.00% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 博物館来館者数	1日平均の来館者数	人	53.33	43.33	20.00	20
2			51.48	18.38	21.51	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担にはなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度は休館や一部事業中止の影響で、来館者数は大きく減少したが、令和3年度は感染対策を講じた企画運営などにより来館者数は若干増加した。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後しばらくは新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置いた企画立案を行う。また学芸員有資格者の正規職員配置を進め、会計年度任用職員と事務・管理担当職員と協力しながら、魅力ある企画展等の立案を進め、来館者数の増加を図る。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	企画展示、特集展示、体験学習など多種多様な事業を実施することで来館者を飽きさせない工夫がなされており、JR九州とのコラボレーション企画等で来館者の増加に向けた取り組みも成果が出ている。関係機関、協力団体等と連携して、継続して取り組んでほしい。	評価責任者 平川裕一
-------------------	---	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館施設管理・運營業務		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	田熊秀幸
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(1)文化交流活動の推進		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当なし			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館管理運営規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市公共施設長期整備計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 6 細目 3			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館が有する機能と役割は、歴史的・文化的価値が高い資料の収集、保存管理及び各種調査研究並びに展示・教育普及が挙げられる。また、来館者の安全で快適な利用のために適切な管理・運営を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市内外からの入館者、市民(※究極の対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	博物館施設の適切な維持管理と運営を行うことにより、来館者に玉名の文化と歴史に興味を持ってもらい、快適に観覧してもらう。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> <li>① 運営・保守管理業務</li> <li>② 博物館維持管理業務</li> <li>③ 博物館中規模改修事業(R3線)</li> </ul>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	19,582	30,200	40,300	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	6,338	7,345	8,337	9,042	
	【16】 小計	6,338	26,927	38,537	49,342	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		2,191				
	職人 員 の 費	職員人工数	1.02	0.70	0.55	0.55	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.21	0.21	0.16		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小計	5,586	4,243	3,216	3,266			
合計		11,924	31,170	41,753	52,608		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 運営・保守管理業務	開館して受付業務等を行う。	開館日数	日	282	267	254	300
② 博物館維持管理業務	業務委託による維持管理を行う。	委託件数	件	7	7	7	7
③ 博物館中規模改修事業(R3線)	博物館の中規模改修として、外壁修理、機械設備改修などを行う	工事進捗率	%	-	-	70	100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(来館者数)	14517	4907	5464	6000
投入コスト合計(千円)	11,924	31,170	41,753	52,608
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	6	8	9
コスト評価(対前年比)	***	16.67% (↓)	75.00% (↓)	88.89% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 博物館来館者数	1日平均の来館者数	人	53.33	43.33	20.00	20
			51.48	18.38	21.51	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和3年度から中規模改修事業を実施しており、外壁の修理などを実施した。令和4年度は設備関係の入れ替え工事を予定しており、順調に進捗している。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和4年度は引き続き中規模改修工事がスムーズに進捗するよう事業を進める。施設は建設されてから30年近く経過していることから、不具合等は早めに発見し対応することで、施設の適切な維持に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	施設の老朽化は、貴重な資料・収蔵品の汚損・破損につながりかねないので、日々の点検を怠らず、必要な予算措置を行い、適正な改修・改善を引き続き実施してほしい。また、災害被災時の対応マニュアルを急ぎ作成のこと。	評価責任者 平川裕一
----------------------	--	---------------



# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	収蔵品等管理業務		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	田熊秀幸
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(1)文化交流活動の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館資料収集管理規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10 項 5 目 6 細目 4

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館の理念に沿って収集した資料を適切な環境で保存し、活用できる状態を維持することは、博物館の基本的な機能である。保存した資料の活用は学術的及び文化的な発展に大きく寄与するため、機能の充実を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	収蔵品、文書・新聞記事等、寄贈・寄託者、市民(※究極的对象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	博物館の理念に沿って資料を収集し、活用できる状態を維持するため、適切な保存管理を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度 】    【 H17 年度から 】    【 年度～ 年度まで 】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・収蔵資料は修繕・修復、収集・整理、手入れ(刀剣)等を行い、管理する。 ・寄贈寄託者と文書による取り交わしを行い、収蔵品としての管理を行う。 【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 収蔵品等管理業務 ② 収蔵品寄贈・寄託手続業務 ③ 刀剣手入れ管理業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	726	970	1,108	1,443
		【16】 小計	726	970	1,108	1,443
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,071				
	職人件費	職員人工数	0.05	0.10	0.12	0.12
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.33	0.33	0.22	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	274	1,192	1,166	1,043		
合計	1,000	2,162	2,274	2,486		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 収蔵品等管理業務	修繕、燻蒸等の委託を行い劣化を防ぐ。	業務委託件数	件	1	1	1	0
② 収蔵品寄贈・寄託手続業務	寄贈、寄託の手続を行う。	手続き件数	件	8	10	17	10
③ 刀剣手入れ管理業務	刀剣の日常的な手入れは特に専門的な知識・技術が必要なため、専門家に依頼する	件数	件	-	-	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(来館者数)	14473	4907	5464	6000
投入コスト合計(千円)	1,000	2,162	2,274	2,486
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (-)	0.00% (-)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 当該年度の寄託・寄贈資料の目録化率	当該年度の寄託・寄贈資料のうち目録化を終えた点数の割合	%	100	100	100	100
2			87	100	70	

\* 成果未達成時の理由 年度末に寄託・寄贈資料申請が集中し、目録化が間に合わなかったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担にはなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	資料によって収納箱を用意するなど、適切な保存作業を順次おこなっている。刀剣類の管理は特に高い技術・知識が必要なため、令和3年度から専門家に依頼して管理を実施している。収蔵庫内については整理を進め、寄託品は所有者と協議を進めて可能な資料から返却を進めている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き収蔵品の適切な管理を進める。近年は水害など災害発生頻度が高まっているため、具体的な対応計画を策定する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	博物館開館からの収蔵品が膨大な数になってきている。保存管理に高度な技術・知識が必要な刀剣類などは専門家の協力をしっかり仰ぎながら、その他収蔵品の管理には、汚損、破損、紛失等が発生しないように細心の注意をはらって行ってほしい。	評価責任者 平川裕一
-------------------	--	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 文化関係団体補助事業	伝統文化団体に補助金を交付し文化活動を支援する。	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2
② 市民文化祭開催支援事業	芸術・文化の普及振興を図るために市民文化祭開催に関し、一定の支援を行う。	文化協会事業件数	件	31	29	30	30
③ 全国大会等出場激励金交付事業	文化的な全国大会等への出場者へ激励金を交付する。	大会激励金交付件数	件	0	0	4	10

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(文化協会所属会員数)	1010	970	970	975
投入コスト合計(千円)	7,339	6,126	5,095	27,331
対象1単位あたりのコスト(千円)	7	6	5	28
コスト評価(対前年比)	***	116.67% (↑)	120.00% (↑)	17.86% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 文化協会所属会員数	令和4年4月1日現在の会員数	人	1100	1020	980	910
2 市民文化祭観覧者数	市民文化祭に訪れた観覧者数は0人(文化祭は中止。4団体の単独開催に参加した人数)	人	1600	2000	1000	1000
			2000	263	800	
* 成果未達成時の理由		コロナ禍で感染防止及び安全が確保出来ないため、文化祭等の文化イベントの多くが中止となったため。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担がそぐわない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	会員の高齢化に伴い会員数の増より減が上回っている。引き続き文化芸術活動を広く周知し参加者を募っていく。見直しや改善は難しい状況である。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	会員の高齢化に伴い会員数の増より減が上回っているが、文化芸術活動を広く周知し参加者を募っていく。例年同様に広報やホームページでの周知活動を維持。感染症対策の基準に沿ったイベント開催を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	文化・芸術は、年齢に関係なく、人々にやりがいや生きがいを与えるものであり、今後も継続して市民文化活動に適切な支援を行うことで「住んでよかった」まちづくりに貢献できると考える。	評価責任者 平川裕一
-------------------	---	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民会館管理事業		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	兵谷有利
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(1)文化交流活動の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市民会館条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市民会館条例、市民会館条例施行規則 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 8 細目 7

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽・演劇の鑑賞や集会・式典など、さまざまな文化活動等の中核施設として、また地域振興の拠点である市民会館については、公の施設として管理する必要があるため。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民会館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	住民が利用しやすい施設として、修繕等を行いながら長期的に利用できるよう管理を行い、また運営面でもサービスの向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【        年度】                      【 H17 年度から】                      【        年度～        年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                      】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理                      】		
事務事業の具体的内容 【14】	・市民会館については指定管理により令和2年4月1日から令和5年3月31日まで管理及び運営を指定管理団体へ委任している。また、ホールに係る修繕については協定により100万円以上のものが発生した場合は市の負担により、破損状況を確認し修繕を行う。 ・雨漏りのため改修設計及び屋根改修工事を行う。(令和4年度予定)		【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 市民会館指定管理業務 ② 市民会館維持管理業務 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	14,800	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	12	0
		一般財源	44,605	37,255	33,781	47,532	0
		【16】 小計	44,605	37,255	33,781	62,344	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.15	0.15	0.50	0.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小計	821	821	2,612	2,709			
合計		45,426	38,076	36,393	65,053		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市民会館指定管理業務	指定管理協定に基づく負担による修繕を行う。	修繕件数	箇所	2	7	7	7
② 市民会館維持管理業務	市民会館を効率的に安全で快適に使用できるように指定管理者に管理運営させる。	開館日数	日	322	273	359	359
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算		
	対象(市民会館利用者数)	91318	38864	40000	40000		
投入コスト合計(千円)	45,426	38,076	36,393	65,053			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	1	1	2			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	100.00%	(→)	50.00%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 市民会館利用者数	市民会館を利用した年間延利用者数	人	107686	91318	40000	54489
2			91318	38864	54489	
* 成果未達成時の理由		(目標値は達成できたが、感染症拡大により令和元年の利用者数の約半分。) (市民会館ホール棟、会議棟ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、使用制限等の規制により利用者数が伸び悩んだ。)				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	感染症対策等の規制により、見直しや改善は行えなかった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	音楽に関係する市内小・中・高の生徒たちに大ホールを提供、音楽での交流活動を助成。今まで以上に利用者の満足度向上のため、積極的な企画や広報活動を求めていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民会館の指定管理委託先の運営を管理しながら、ホールの貸館事業が今以上に活性化するための事業の誘致企画や積極的な広報活動を求めていく。	評価責任者 平川裕一
----------------------	---	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	旧庁舎跡地周辺文化財発掘調査事業		所管課【2】	文化課
			作成者(担当者)	菊池直樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(2)文化財の保護と活用		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 2 項 1 目 8 細目 24

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、旧庁舎跡地周辺施設急傾斜地崩壊対策事業地内で確認された埋蔵文化財については、玉名市において発掘調査を実施し、記録保存を図らなければならない。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財、市民(※究極の対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	工事によって影響を受ける埋蔵文化財について、現地での発掘調査及びその後の整理作業・報告書刊行を行うことで記録保存を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 年度から】    【 R2 年度～ 0 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	旧庁舎跡地周辺施設急傾斜地崩壊対策事業地内において、埋蔵文化財の予備調査を実施した結果、玉名第一保育所跡地の一部で埋蔵文化財が確認されたため、工事着手前に現地での発掘調査を実施し、その後の整理作業・報告書刊行により記録保存を行う。また、令和3年度の工事中に旧軍部による特殊地下壕が発見されたが、当該地での開発に伴い影響を受ける場合は、必要な調査を実施するとともに、その結果を報告書としてまとめることで記録保存を図る必要がある。 発掘調査面積：1,024㎡ 特殊地下壕：調査内容・面積等未定
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 旧庁舎跡地周辺文化財発掘調査事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	200	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	615	299	10
		【16】 小計	0	815	299	10
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人件費	職員人工数	0.00	0.50	1.06	0.90
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			1.65	1.12	0.50	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	0	5,956	7,364	5,769		
合計	0	6,771	7,663	5,779		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 旧庁舎跡地周辺文化財発掘調査事業	事業地内の埋蔵文化財を発掘調査する。	現地調査面積	m <sup>2</sup>	***	1024	***	***
②	現地での発掘調査完了後に、整理作業を実施し、報告書を作成・刊行する。	整理作業進捗率	%	***	***	40	40
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
	対象(市民(※究極の対象))	0	65817	65189	64303
投入コスト合計(千円)	0	6,771	7,663	5,779	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 文化財発掘調査進捗率	現地調査面積/発掘予定面積×100	%	***	100	***	***
2 文化財整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	***	***	40	40
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 負担を強いることは適当ではない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	前回ふりかえり時の計画では、令和4年度中に発掘調査報告書を刊行する予定であったが、開発対象地(旧第一保育所及び文化センター駐車場)地下に旧軍部により設置された特殊地下壕が発見され、その取扱いが未定であるため、報告書の刊行を令和5年度以降に延期することとした。今後、全体の開発計画策定に伴い、特殊地下壕の取扱いも決定されるため、その内容に応じて必要となる調査を実施し、併せて報告書を作成・刊行することとする。このため、令和4年度事業については、既に現地調査を完了している繁根木遺跡群発掘調査の整理・報告書作成作業に止めることとする。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も効率的な作業と適切な工程管理に努め、事業の進捗を図る。特殊地下後の取り扱いについては、当該地一帯における全体の開発計画策定後、当該文化財が受ける影響に応じて必要となる調査を実施し、その結果も含めた報告書を作成、刊行することとする。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	旧第一保育所等開発対象地の発掘調査は適切に完了しており、特殊地下壕の今後の取り扱いについては、文化財保護審議会の意見意向を踏まえ、文化財係としての考えをしっかりと主張してほしい。	評価責任者 平川裕一
-------------------	---	---------------



# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化財保護事業		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	佐藤夕香
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(2)文化財の保護と活用		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 4 細目 1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本市には、多くの文化財が残されているが、十分な保存環境が整っておらず公開も一部に限られており、将来に向けて適切な保存整備や、活用方針を示す必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	文化財、市民、他市町村民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市内に残された多くの優れた文化財の把握と価値付けのために、文化財に関する調査を進め、適切な文化財指定・登録を推進していく。また、後世に伝えるため文化財の保存整備を図り、文化財を通して郷土の歴史を学習する場を提供するなど、活用と公開に努める。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【          年度】                                  【 H17 年度から】                                  【          年度～          年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                                  】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                                  】
事務事業の具体的内容 【14】	・指定文化財を適切に保存管理するため、清掃・除草・見廻り等を実施する。また、保存環境が適切でない文化財の整備に取り組むため、公有化を進める。 ・未指定の文化財について、その価値付けを行い指定文化財として保存できるよう、文化財保護審議会と連携しながら調査を進める。 ・価値の高い国指定文化財などを、保存に留意しながら積極的に一般公開し、学習や観光の機会を提供する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ⇒ ① 文化財保存管理業務 ② 有形・無形民俗文化財補助事業 ③ 文化財保護審議会業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	120	120	120	120	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	11,908	9,728	9,648	10,731	0
		【16】 小 計	12,028	9,848	9,768	10,851	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0					
	職人 員 の 費	職員人工数	1.45	2.50	2.79	2.70	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小 計	7,940	13,690	14,572	14,629			
合 計	19,968	23,538	24,340	25,480			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 文化財保存管理業務	地元等に委託し除草、清掃、見廻り等の管理を行う。	業務委託団体数	団体	14	14	12	11
② 有形・無形民俗文化財補助事業	指定文化財の保護・保存活動に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	9	4	4	6
③ 文化財保護審議会業務	会議及び現地調査を開催する。	会議等開催数	回	2	3	3	5

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算				
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画				
		66319	0	***	65817	0	0.00%	(-)	65189	0	0.00%	(-)
		19,968	0	***	23,538	0	0.00%	(-)	24,340	0	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 県内装飾古墳一斉公開見学者数	玉名市内で公開対象となった各装飾古墳の見学者延べ人数	人	1000	800	800	200
2 指定・登録文化財件数	国県市指定・登録文化財の累計数	件	157	158	162	164
			440	0	35	
			156	161	163	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年度同様に感染拡大前まで実施していた秋・春の4か所での装飾古墳公開を中止し、石貫穴観音横穴での事前申し込み定員制(公開日:令和3年12月4日 定員:午前20名・午後20名)による公開を行ったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 負担を強いることは適当ではない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	指定文化財の新規指定を進めた結果、より多くの文化財を保護の対象とすることが可能となった。また、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の文化財の直接的な活用はできなかったが、感染拡大防止に配慮し、可能な限りの直接的な活用を実施した。また、令和2年度と同様に、ホームページ上の指定文化財に関する記事改定や、新規指定文化財の広報誌への掲載等、コロナ禍においても実施可能な活用を積極的に行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も文化財を適切に管理、保全するとともに、指定文化財の新規指定を進め、コロナ禍でも可能な範囲で積極的な活用を図っていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	地元住民の協力とともに、職員自らも清掃・除草作業を行うなど、指定分だけではなく、多くの文化財の保全管理に日々尽力している。今後も保護対象となる文化財の増加が見込まれ、作業量の増加も想定されるため、適正な職員配置要望や会計年度任用職員等の活用を検討すること。	評価責任者 平川裕一
-------------------	--	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市内遺跡試掘確認調査事業		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	中村安宏
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(2)文化財の保護と活用		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 4 細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、各種開発に伴う工事との調整を図り、適切に保存されることが求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財等、市民(※究極的对象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各課(市)や開発事業者からの事業照会后、踏査・試掘・確認調査を行うことで遺跡の内容を把握し、工事との調整を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】    【 H17 年度から】    【      年度～      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】
事務事業の具体的内容 【14】	各種開発事業予定地が、遺跡が存在する可能性が高い土地であったり、埋蔵文化財包蔵地内である場合に、その一部を重機や人力で掘削し、地下の状況を確認する。遺跡が存在しない場合や遺跡の現状保存が可能な場合は開発着手可能であるが、埋蔵文化財に影響を及ぼす場合は、発掘調査(本調査)が必要となる。その判断を行うための予備調査である。
	【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本 ⇒ ① 市内遺跡試掘確認調査業務 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	2,520	1,868	1,624	2,040	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,520	1,869	1,624	2,039	0
	【16】 小計	5,040	3,737	3,248	4,079	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,291					
	職人 員 の 費	職員人工数	1.25	0.48	1.99	1.90	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.46	0.00	0.34		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小計	6,845	3,525	10,394	10,901			
合計	11,885	7,262	13,642	14,980			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市内遺跡試掘確認調査業務	埋蔵文化財包蔵地内の届出受付や試掘を行う。	届出受付件数	件	83	92	109	100
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(届出受付件数)	83	92	109	100
投入コスト合計(千円)	11,885	7,262	13,642	14,980
対象1単位あたりのコスト(千円)	143	79	125	150
コスト評価(対前年比)	***	181.01% (↑)	63.20% (↓)	83.33% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 届出に対する対応率	届出対応件数/届出受付件数×100	%	100	100	100	100
2 本事務事業における要本調査案件に対する対応率	本調査実施件数/要本調査案件数×100	%	***	100	100	100
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 国庫補助対象事業のため ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	民間開発は、突発的に発生する可能性があり、調査がどの程度必要か予測がつかない部分があるが、国庫補助事業での対応が可能であるため、現状のまま継続することが望ましい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	一般の開発事業者からだけでなく、市の他部署との連携もしっかりとれており、試掘調査等にも迅速に対応している。 現状のまま、しっかりと継続してほしい。	評価責任者 平川裕一
-------------------	--	---------------



# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市内遺跡発掘調査事業		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	中村安宏
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(2)文化財の保護と活用		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 4 細目 3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、各種開発に伴う工事との調整を図り、適切に保存(記録保存含む)されることが求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財等、市民(※究極的对象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	開発行為によって影響を受ける埋蔵文化財を保護するため、発掘調査を行い文化財の状況を記録保存する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】    【 H17 年度から】    【      年度～      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】
事務事業の具体的内容 【14】	民間の各種開発に伴い、埋蔵文化財の試掘・確認調査を実施した結果、埋蔵文化財が確認され、現状での保存が困難な場合に、事業主の費用負担による発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図る。
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 年の神遺跡発掘調査(現地調査) ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	995	264	0	228
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	995	264	0	228
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	673				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.65	0.46	0.33	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.54	0.84	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	3,559	2,519	2,605	3,125		
合計	4,554	2,783	2,605	3,353		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 年の神遺跡発掘調査(現地調査)	開発行為に伴い、影響を受ける埋蔵文化財について現地での発掘調査を行う。	発掘調査面積	m <sup>2</sup>	***	***	89	***
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(発掘調査面積)	505	505	89	0
投入コスト合計(千円)	4,554	2,783	2,605	3,353
対象1単位あたりのコスト(千円)	9	6	29	0
コスト評価(対前年比)	***	150.00% (↑)	20.69% (↓)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	***	100	***	
2 本事務事業における要本調査案件に対する本調査実施率	本調査実施件数/要本調査案件数 × 100	%	100	100	100	100
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	発掘調査(現地調査)において、写真測量を導入することで作業の効率化、迅速化及び経費の削減を図った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	発掘調査(現地調査)において、写真測量を導入することで、作業の効率化、迅速化と経費の削減を図ったことから、現状のまま継続することが望ましい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	作業の効率化や経費の削減も図られている。今後も法の規定に基づく埋蔵文化財の適正な保護、記録保存を継続して実施する。	評価責任者 平川裕一
----------------------	---	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化財保護活用拠点施設(仮称:玉名市文化財管理センター)整備事業		所管課 【2】	文化課
			作成者(担当者)	菊池直樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分	(2)文化財の保護と活用		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、文化庁次長通知 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10 項 5 目 4 細目 9

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市は、装飾古墳をはじめとした有形・無形の豊富な文化財を有しており、それらを資源として有効に活用することが求められている。特に埋蔵文化財発掘調査に伴う出土遺物を中心とした動産文化財を有効活用するためには、それらを整理・保管するための施設が必要となる。現在は、第3別館において整理・保管を行っているが、スペースが限界に達しているため、旧石貫小学校及び横島町公民館でも保管を行っているのが現状である。しかし第3別館に関しては、建築から約56年が経過しており老朽化が著しいため、代替施設の確保が急務となっている。また、今後の新玉名駅周辺における官民による開発に伴い、埋蔵文化財の発掘調査が多発する可能性があり、それに伴い出土遺物の大幅な増加が見込まれるため、さらなる保管施設の確保が必要な状況となっている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	文化財、市民、他市町村民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名市内における埋蔵文化財発掘調査に伴う出土遺物やその他の動産文化財を有効活用するため、それらを適切に保存・管理するための施設を整備する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 年度から】    【 H31 年度～ R6 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	旧石貫小学校の校舎(管理・教室棟、特別教室棟)、及び屋内運動場を改修し、埋蔵文化財発掘調査(現地調査)後の整理作業や、出土遺物及び市内の指定・未指定文化財を保存・管理するための施設を整備する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 旧石貫小学校施設維持管理事業 ② 旧石貫小学校アスベスト調査事業 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	6,000	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	6,928	1,735	1,993	2,515	
	【16】 小計	6,928	1,735	1,993	8,515	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0					
	職人件費	職員人工数	0.45	0.85	0.20	0.20	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小計	2,464	4,655	1,045	1,084			
合計	9,392	6,390	3,038	9,599			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 旧石貫小学校施設維持管理事業	現施設の維持管理に必要な業務を民間業者に委託する。	業務委託件数	件	4	4	4	4
② 旧石貫小学校アスベスト調査事業	現施設の中規模改修設計に必要なアスベスト調査を民間業者に委託する。	業務委託件数	件	***	***	1	***
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(市民)	66319	65817	65189	64303
投入コスト合計(千円)	9,392	6,390	3,038	9,599
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (-)	0.00% (-)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 現施設の維持管理に必要な業務委託実施件数	業務委託実施件数	件	4	4	4	4
2			4	4	4	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	公平性評価 負担率【 0.00 %】 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和3年度事業にて実施したアスベスト調査結果から、計画している施設の中規模改修においては、アスベスト対策は不用との結論に至った。このため、基本計画で見積もっていたアスベスト対策経費を除いた事業費にて新規事業提案を行い、条件付きでの採択を受けた。現施設の維持管理に関しては、業務委託等により適切に実施した。			
今後の方向性 【26】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新規事業提案の条件付き採択を受けたことから、令和4年度事業として中規模改修の実施設計、令和5・6年度に中規模改修工事及び必要備品の購入・設置を行う予定である。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 玉名市文化財管理センター(仮称)施設整備事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	旧石貫小学校を文化財保護施設として活用するためのスタートラインにたどり着いたことになる。並行して建物外の部分の活用も検討を進め、令和4年度の実施設計事業、令和5年度からの改修工事等が滞りなく実施されることを希望する。	評価責任者 平川裕一
----------------------	--	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 音楽推進事業	会場の充実及び出演団体等の活性化を図る。	音楽イベント開催回数(音楽祭・ロビーコンサート・スクールバンドコンサート)	回	14	1	6	14
② 人材育成事業	幼稚園や小中学校等を対象に出前コンサートを行う。	アウトリーチ開催回数	回	32	11	17	20
③ タマにやんグッズ制作事業	「音楽の都」周知用にタマにやんグッズを制作し、音楽イベント時に配布を行う。	グッズ制作個数	個	1000	1000	0	1000

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)					
		66330	0	65817	0	65189	0	64303	0
		8,205	***	6,830	0.00%	6,338	0.00%	10,458	0.00%
					(-)		(-)		(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 音楽イベント来客者数(市民音楽祭を除く)	スクールバンドコンサート・出前コンサート来客数の合計	人	4300	4000	2500	1500
			3933	2364	1000	
2 市民音楽祭入場者数	市民音楽祭の会場に入場した人数(2年連続で開催中止)	人	800	700	700	700
			695	0	0	
* 成果未達成時の理由	スクールバンドコンサートは関係者のみの入場で開催。ロビーコンサートは市民会館ホールのロビーで月1回の開催。アウトリーチは17校で開催できたが、コロナの蔓延が影響して希望校や参加者が少なかった。音楽祭は開催一週間前にコロナが急増したため開催中止となった。					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担にそぐわない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	音楽祭は令和3年度から音楽祭実行委員のメンバーが総入れ替えとなり、新しい音楽祭を開催する。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	市民会館ホール棟を活用したイベントを充実させる。人数制限等に対応出来るよう座席は全席指定で準備。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	多くの市民が音楽に触れる機会を提供し、音楽活動のバックアップをするために、引き続き市民音楽祭の開催、スクールバンドコンサート、ロビーコンサート、アウトリーチ事業の充実を図り、「音楽の都 玉名」のイメージアップにつなげる。	評価責任者 平川裕一
----------------------	--	---------------